



令和3年度 ふるさと探究講座 参加者募集！

川崎市大山街道ふるさと館では、大山街道や高津地域の歴史や文化について、より深く学ぶことのできる「ふるさと探究講座」を開催しております。

本年度は 11月3日(水・祝)、11月28日(日)、12月18日(土)の3回、各専門分野の講師をお招きし、ご講演いただきます。各回とも、会場は当館イベントホールです。

9月30日(木)(消印有効)までに往復はがきでお申し込みください。

各回、参加費 500 円です。

お申込方法は裏面へ

11/3(水・祝)10時~12時 「**県央地域の大山街道 -海老名を中心に-**」

講師：片山兵衛氏 (海老名市文化財保護審議委員会委員)

大和・海老名周辺といった県央地域の大山街道を、江戸時代から明治時代にかけて歩いた人々の記録を丹念に見ることで、今では失われた高座郡周辺の景観や風物、人情などに幅広く体感的に迫ります。

春の海老名耕地と大山-昭和32年撮影
『海老名市史(3) 資料編 近世(2)』より



11/28(日)10時~12時 「**溝口村の水騒動**」

講師：落合功氏 (青山学院大学経済学部教授)

久地円筒分水は、溝の口駅から20分程度の場所にあります。二ヶ領用水の水がここに集まり、ここから東の川崎方面に分水しています。実は、江戸時代、二ヶ領用水の水の利用をめぐる溝口村で大騒動が起きています。今回は、文政4年(1821)の水争いを紹介します。



久地円筒分水(国登録有形文化財)

12/18(土)10時~12時 「**幕末期、大山街道沿いの歌人たち**」

講師：相澤雅雄氏 (地域史研究家)

幕末期に溝口宿や長津田宿でも、地方歌人の姿が見られました。江戸地廻り経済の発展によって、俳諧と同じく和歌を詠む人たちがいたことが確認されます。今回は、両宿場の地方歌人を紹介します。

溝口の歌人・
太田良海(道一)の
和歌を収める
猿渡容盛編
『類題新竹集 上』
明治4年(1871)
玉巖堂刊
講師所蔵



主催 川崎市大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3

電話 044-813-4705

FAX 044-712-0034



ふるさと館 HP

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の点についてご協力をお願い申し上げます。

- ・マスクを着用してください。
- ・発熱、体調の悪い方は参加をお控えください。
- ・密接とならないように配慮してください。
- ・入館時または入室時に消毒液をご使用ください。
- ・入室時に検温を実施させていただきます。